

健康増進室	一般教育棟一階	9時~17時(金16時)	054-264-5200
医務室	はばたき棟一階	9時~16時(金15時)	054-264-5117

大学構内で蜂が確認されました

草が繁茂し、草刈りの必要な時期が、蜂に刺される最も危険な時期です
気温が高くなり、活動が活発になっています



11~18mm

黒スズメバチ(地蜂)
 地中に巣がある
 攻撃性が高い



21~30mm

スズメバチ
 攻撃性が高い



21~26mm

アシナガバチ
 比較的大人しい



9~11mm

ミツバチ
 大人しい
 針に返しがあり
 毒嚢が残る



蜂に刺された時の応急処置

慌てず冷静に対処 ※刺激しないようゆっくり10~20m逃げる

ハチに刺されたときの応急処置

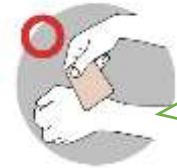
- 1 症状の確認
- 2 ハチの針を抜く
- 3 流水で毒を取り除く
- 4 薬をぬる
- 5 冷やす



患部に口をあてて
 毒を吸い出したり
 オシッコをかける
 行為はNG!

※全身症状が出たらすぐに病院へ!

毒液に
 蜂の仲間を呼び
 警戒フェロモンがある



カードで
 横から払い
 針を抜く

【予防】

- ① 蜂の巣や蜂に近づかない
- ② 黒地の着衣を避ける(できるだけ白色系がよい)
- ③ 肌の露出をなくす
- ④ 香水や化粧品、整髪料を控える
- ⑤ 蜂や巣に遭遇しても、大きな声を出したり手足で追い払ったりしない 静かに・速やかに・その場を離れる
- ⑥ 自然の多い場所に出かける時は、ポイズンリムーバー、抗ヒスタミン入りステロイド軟膏、保冷剤などを準備すると安心
- ⑦ 1回蜂に刺された方は、2回目以降、蜂毒に起因する「アナフィラキシーショック」(抗原抗体反応)により死亡に至る場合もありますので、補助治療剤のアドレナリンの自己注射器(エピペン)を医師に処方してもらう



- ① 症状観察 局所(発赤・腫脹・疼痛)と全身症状(直後と翌日以降)
- ② 残った針を指でつまむと毒嚢を圧迫してしまうので毛抜き又は硬いカードなどで横に払いこすり取り毒嚢を潰さない
- ③ 毒の回りを防ぐ 刺された人は**動かない**
 - 刺された部分を**水で洗い流す**
 - ポイズンリムーバーがあれば、2分以内に毒を吸出たす吸ったまま**10分**程度置く(毒をきちんと吸い出す)決して口で吸わない
- ④ 抗ヒスタミン成分を含むステロイド軟膏があれば塗る
- ⑤ 保冷材などをガーゼで包み冷やす 処置後は受診



アナフィラキシーショックの兆候

(発疹・全身熱感・咳・息苦しい・眼がくらむ・吐気・腹痛等)



足を挙上し、アドレナリン注射があればその場で使用



至急、受診
 救急車119

